

手術前の「つめ・ネイルアート」に関するお願い



手術の際は、患者さまの呼吸状態を見張り安全を確保するため、指にクリップを装着いたします。（下記の図をご覧ください。）

このクリップは、脈拍や体内の血管内のO₂（酸素）濃度を計測する装置で、皮膚では光が通過しないため、透明な爪を通して計測します。

そのため、爪にアート（マニキュア・ジェルネイル・スカルプチュアなど）をされていますと光が通らずセンサーが正しく読み取れないため、手術に支障がでる事がございます。

お手数ですが、手術当日はネイルアートを落としてご来院ください。



これが脈拍測定するためのクリップです。



クリップを親指に装着します。



装着後、計測に入ります。

下図の機械を使って患者さまの体調管理をします。



この部分から皮膚と爪に光をあてて計測します。



こちらの機械でクリップから送られる呼吸状態を数字で把握します。

★ 極端に長い爪（指先から5mm以上長い）ですと、クリップの装着が難しく、爪先も傷ついてしまう可能性がございますので、お手入れをお願いいたします。

★ 場合によっては、足の指に装着させていただく場合がございますので、足の指も同様をお願いいたします。

